

ひのみやぐら

No.30

平成24年3月

発行

鶴岡市消防団藤島方面隊
広報委員会



主な記事

◎藤島方面隊1年のあゆみ

◎特集

東日本大震災から学ぶ

庄内地方の断層帯について

◎藤島分署よりお知らせ

◎梯子乗り・纏振り保存会

◎女性消防隊より

◎班紹介『東堀越1班』、『下川尻』など

消したはず 決めつけしないで もう一度

(平成23年度 全国統一防火標語)

鶴岡市消防団藤島方面隊 一年のあゆみ

4/18
初任消防団員
研修会



初任消防団員研修会が藤島体育館で開催され、初任団員27名が参加して行われました。

阿部団長からの講話に始まり、鶴岡市消防署員・女性消防隊の方々の指導のもと3時間にわたり、普通救命講習が行われました。

それから、団幹部からは訓練礼式や器具操作法の基礎の指導を受けました。

また、『梯子乗り・纏振り』の演技披露と初任団員による体験も行われました。

この研修会で、消防団員として、より一層成長することが期待されます。

5/28
藤島方面隊
春季消防訓練



爽やかな五月晴れの下、藤島体育館駐車場を会場に藤島方面隊全団員が参加し、春季消防訓練が開催されました。

指揮者の力強い掛け声により団員の正確かつ機敏な基礎動作訓練が行われたあと、『梯子乗り・纏振り』が披露され、参観者より温かい拍手と歓声があがりました。

団員は危険が伴う現場では効率かつ安全な行動が要求されるため、基本動作訓練は団体行動の基本であることを改めて認識しました。

7/10
藤島方面隊
操法大会



真夏を思わせる炎天下の中、自動車1台、小型ポンプ17台が藤島体育館に集結しました。大会では指揮者の旺盛な指揮の下、規律ある動作と正確な操作により二重巻ホースを延長・送水し、標的を素早く倒すことが求められます。出場班は大会に向けて練習してきた成果を遺憾なく発揮し、果敢な操法を繰り広げました。

操法大会の結果



1位	宝 徳 (5-2-1)	得点78・75点	時間48・25秒
2位	添川2班 (3-1-2)	得点76・00点	時間48・05秒
3位	上 荒 俣 (5-3-3)	得点72・25点	時間51・94秒
4位	藤 の 花 (1-2-3)	得点70・75点	時間57・43秒
5位	上 新 田 (4-2-1)	得点67・50点	時間56・06秒

■最優秀操作員賞
《小型ポンプの部》
3番員 野口 剛 (藤の花)
板垣郁仁 (上新田)

8/7

山形県消防操法 庄内支部大会

真夏の日差しが降り注ぐ中、庄内各地域からの代表、自動車ポンプ10台、小型ポンプ13台が三川町の消防学校に集結し、素早く正確な動作を競い合いました。我が、藤島方面隊からは自動車ポンプの部に下川尻班、小型ポンプの部に宝徳班が代表として大会に出場しました。

結果は惜しくも上位入賞を逃しましたが、日夜練習を積み重ねた出場班に感謝と敬意を表します。また、ご指導して頂きました藤島分署員の皆様、ご協力頂きましたご家族の皆様により感謝申し上げます。



9/4

藤島地域 総合防災訓練

今年度の防災訓練は、昨年引き続き、各分団毎にそれぞれの地区で実施されました。

- ・ 1分団 (上町)
 - ・ 2分団 (越後京田)
 - ・ 3分団 (東堀越)
 - ・ 4分団 (上新田)
 - ・ 5分団 (大半田)
- 今回は、5分団での訓練内容について紹介します。

庄内東縁断層帯を震源とする、マグニチュード7の地震が発生したという想定の下、消防団員約70名と100名を超える町内会住民の参加の中、実施されました。始めに行われた避難訓練・安否確認訓練では、隣組毎に集合場所に集まり、その間に各組長が各家を周り、残されている人がいないかを確認、その後、公民館まで避難し、自主防災役員に住民の安否状況や避難状況を報告しました。

続いて行われた火事触れ・初期消火訓練では、火災を発見した住民が大きな声で火事振れを行い、リレ

一方式で火災発生を伝達。発見者はすぐさま警鐘を鳴らし、聞きつけて集まった住民で、消火栓からの放水が行われました。参加した方の大半が消防団OBだった事もあり、迅速かつ正確な消火活動が展開されました。この後の、消防団員による火災防衛訓練では、自動車ポンプによる二股分岐放水や小型ポンプによる中継放水、水幕放水が行われ、住民の方々には真剣な眼差しで訓練を見つめていました。

水消火器を使った消火器訓練では、消防団員が消火器の使い方や消火方法などを説明し、お子さんや女性の方々にも、実際に体験して頂きました。

炊き出し訓練では、女性部の方々の協力で、5升もの米をおにぎりにしてもらい、訓練参加者に配食して頂きました。

この他にも、消防団員により、交通規制訓練や緊急車両誘導訓練、現場保存訓練などが行われました。

訓練の後に行われた検討会では、名ばかりの組織となっていた自主防災会だったが、今回の訓練を契機に、

有事の際に備え、自主防災組織の強化・継続が大事であるという言葉があり、日頃からの準備の大切さを再認識して頂きました。訓練にご協力頂きました多くの方々に感謝を申し上げます。



1/22

藤島地域 消防出初式

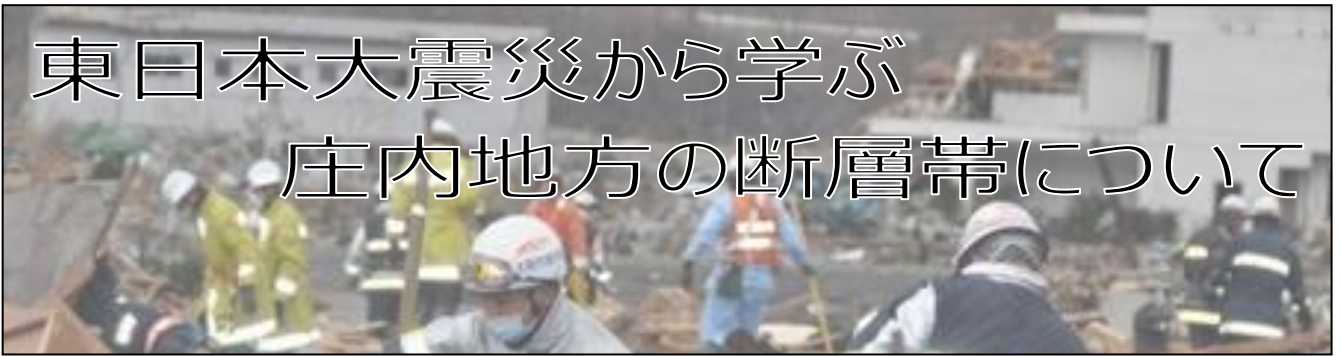
穏やかな天候に恵まれ、新春恒例の藤島地域消防出初式が、藤島公民館前を会場に行われました。

出初式に先立ち、公民館大ホールにおいて、藤島地域の無火災と安全を願い、神事が執り行われました。その後、会場を公民館前に移し、消防団員による祝賀放水や梯子乗りが披露されると、沿道の市民からは拍手と歓声が上がりました。また、婦人防火クラブと女性消防隊の協力の下、市民の方々にこんにやくが、子ども達にはお菓子が振る舞われました。

最後に分列行進が行われ藤島方面隊の心意気を示すと同時に、市民の方々の更なる防災意識の高揚に繋がったものと思います。



東日本大震災から学ぶ 庄内地方の断層帯について



まだ記憶にも新しい東日本大震災が発生し、1年が経ちました。その影響はまだ、大きな爪跡を残しております。今回の地震で、幸い山形県庄内地方は、甚大な被害もなく済みましたが、我々が住んでいる庄内地方は地震について、はたして大丈夫なのか調べてみました。

【活断層の多い日本列島】

日本列島の断面を見ると大陸側のプレートの下に太平洋プレートが沈み込んでいる構造のため、日本列島には常に大きな力が加わっており、これによって生じた歪みが断層です。特に内陸部の地表面に近い範囲にある活断層は全国で二千箇所を超え、その多くは数万年から数千万年単位で活動を繰り返すと言われています。

【庄内地方の断層帯】

庄内地方には、庄内平野と出羽丘陵の境界部に分布する庄内平野東縁断層帯があります。庄内平野東縁断層帯は、遊佐町から酒田市東部、庄内町を経て鶴岡市

に至る断層帯です。長さは約38キロメートルで、ほぼ南北方向に延びており、断層の東側が西側に対して相対的に隆起する逆断層です。尚、庄内平野東縁断層帯は、過去の活動時期の違いから、庄内平野東縁断層帯北部（遊佐町から酒田市東部、庄内町に至る断層帯）と庄内平野東縁断層帯南部（酒田市東部から庄内町を経て鶴岡市に至る断層帯）に区分されています。旧藤島町管内についてみれば、庄内平野東縁断層帯南部にあり、具体的には添川地内の県道沿いに断層帯が走り、農村環境改善センター付近が断層帯の南端にあたります。

【断層帯の過去の活動】

庄内平野東縁断層帯北部の平均的な上下方向のずれは、2m/千年程度の可能性があり、最新活動は1894年(明治27年)庄内地震であったと推定されています。また、平均活動間隔は1000から1500年程度もしくはそれ以下の可能性があるとされています。一方、庄内平野東縁断層

帯南部の平均的な上下方向のずれは、0.5m/千年程度と推定され、最新の活動時期は約3000年前以後、18世紀以前であったと推定されています。また、平均活動間隔は約2500から4600年の可能性があるとされています。

【断層帯の将来の活動】

庄内平野東縁断層帯は、過去の活動と同様に北部と南部の2つの区間に分かれて活動すると推定されていますが、断層帯全体が1つの区間として同時に活動する可能性もあると言われています。

断層帯北部が独自に活動した場合、マグニチュード7.1程度の地震が発生すると推定されています。その際、断層帯の近傍の地表

面では、断層の東側が西側に対して2m程度高まる段差やたわみが生じる可能性があります。また、断層帯南部が独自に活動した場合、マグニチュード6.9程度の地震が発生すると想定されています。その際、断層帯の近傍の地表面では断層の東側が西側に対して1から2m程度高まる段差やたわみが生じる可能性があるとされています。

また、庄内平野東縁断層帯全体が同時に活動した場合には、マグニチュード7.5程度の地震が発生すると推定されています。

山形県の活断層



鶴岡市消防署

藤島分署より



鶴岡消防
マスコット

てんじんくん

火事・救急・救助
局番なしの 119

3・11東日本大震災

緊急消防援助隊、鶴岡隊被災地へ

消防は市町村単位の組織ですが、ひとたび大災害が起きれば緊急消防援助隊として全国から招集され、各消防が一丸となって被災地で活動します。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では全国44都道府県から出動し、懸命な消火、救助、救急活動を行いました。それは史上最大かつ最長の派遣でした。



鶴岡隊は震災発生の当日から、3月末日までの21日間、第1次隊から第6次隊までが、岩手県大船渡市で消防活動にあたりました。



また、第7次隊は宮城県気仙沼で救急活動などにあたりました。テレビ、新聞で報道されている以上に被害があまりにも甚大で、瓦礫が接近を阻み、灯火のない漆黒の闇



が広がっていました。

藤島分署からも5名の隊員が招集、出動しました。

余震や津波警報が続く中で、主な活動として人命検索を行い、時間が経過し、生存率が低下する中、生存者救出などの明るい情報が入り、活動する隊員には大きな希望がわき生存を信じて人命検索を行いました。

安全だと思われていた様々なものが破壊され、防炎だけでなく、起こってしまった災害に対し被害を軽減させることが大切だと感

じました。
また、「想定外」に対応する能力を身に付ける必要があると痛感しました。
最後になりましたが、この東日本大震災において被災された方々の温かい言葉や励ましの言葉に救助すべき私達が助けられました事に、深く感謝しますとともに、被災地の一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

地震に備えて

いかりんぐじゅ!!

突然、大きな地震に襲われたとき、私たちは適切な行動が取れるでしょうか。何よりも自分の命を守ることが、そしてケガをしないことが大切です。

地震の揺れを感じたら、まず、身の安全を最優先に行動しましょう。

地震被害の軽減に向け、【地震に対する10の備え】をいま一度確認しましょう。日頃できることから地震に備えてください。

かけがえのない命を守るために・・・

- ①家具類の転倒・落下防止をしておこう。
- ②ケガの防止対策をしておこう。



- ③家屋や塀の強度を確認しておこう。
- ④消火の備えをしておこう。
- ⑤火災発生の早期発見と防止対策をしておこう。
- ⑥非常用品を備えておこう。
- ⑦家族で話し合っておこう。(避難場所や避難経路)



- ⑧地域の危険性を把握しておこう。
- ⑨防災知識を身に付けておこう。
- ⑩防災行動力を高めておこう。(防災訓練に参加)

お問合わせ 藤島分署

☎ 64-2139

梯子乗り・纏振り保存会 火消し魂ここにあり

若手隊員の熱い想い

町火消しの心意気を示すとされ、江戸時代にはじまったといわれる伝統ある梯子乗り。高さ約6・5メートルの梯子の上で様々な技を披露しますが、その一つの梯子は10人の支え手によって支えられていて、皆の協力なしでは出来ません。私は梯子乗り隊員になって2年。まだまだ先輩方の様に難易度の高い技は出来ませんが、これから練習を重ね、色々な技を習得し、先輩方が伝えてきた伝統が途絶える事のない様に継承して行きたいと思えます。

今年も出初式で無火災安全を祈願し、梯子乗りを披露しました。新しい技にも挑戦し、事故もなく無事に演技が出来ました。

今後もこの伝統を披露する場がなくなる事のない様に大切にして行きたいと思えます。

(梯子乗り隊員 我孫子純)



梯子乗り・纏振り隊 隊長の一年

今年の活動を振り返ってみると、春演習で2回と出初式で2回と今年は、元藤島町消防団長横田勝敏氏瑞宝単光章祝賀会に参加で5回演技披露を行いました。東日本大震災があり、いつもとは違う心境で辛い気持ちでありましたが隊員は元気に、精一杯に取り組んだ1年でした。

現在、抱えている悩みは隊員の人員不足です。そこで、初任消防団員研修会で梯子乗りの団員を募集する事にし、梯子乗りの技の披露や、初任団員に、梯子に登ってもらい興味を持ってもらうようにしました。又、研修会終了後の懇親会は全分団合同で実施し、この場でも勧誘を行いました。やってみてみたいという3名がおり、その内の1名から入隊してもらおう事になりました。大変うれしい限りです。

最後になりますが、梯子乗り・纏振り隊員の活動にさいし、関係各位に感謝すると共に、今後とも協力をお願いします。

(隊長 成澤 正喜)

梯子乗り・

纏振り

隊員名簿

梯子乗り隊員

代表 原田 正彦

飯鉢 哲夫、栗田 幹

石川 安彦、齋藤 直八

小野寺一貴、本間 丈裕

太田 晃二、齋藤 謙介

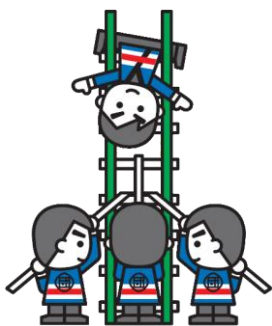
我孫子 純、叶野 智裕

伊藤 輝子

纏振り隊員

代表 板垣 一紀

高橋 大輔、菅原 和彦



鶴岡市消防団女性消防隊より ～いざという時の防災グッズ～

備えあれば

平成 23 年 11 月 1 日に起きた「東日本大震災」により、私達は改めて防災の大切さを教えられました。災害はいつ訪れるかわかりません。自身や大切な家族を守る防災グッズは必ず用意しておきたいものです。その中でも重要なのが避難時に持ち出す防災グッズ。防災グッズと一言で言っても様々な物が挙げられますが、中でも「非常用持ち出し袋」は家庭に一つ、出来れば 1 人一つは備えておきましょう。

わざわざ買う必要はありません。家にあるリュックに必要な防災グッズを詰めて自分の「非常用持ち出し袋」を用意すれば大丈夫です!!

この機会に自分用を作ってみたり、すでに用意してある方は、中身を確認してみたいかがでしょうか?

非常用持ち出し品

非常時にすぐに持ち出すもの。被災時・非常時の最初の 1 日間をしのぐ分を目安に考えてみましょう。

	品名	チェック	品名	チェック
食料	飲料水(ペットボトル)		乾パン	
	缶詰		チョコレート・飴	
	レトルト食品			
救急用品	絆創膏		鎮痛剤	
	包帯		かぜ薬	
	脱脂綿		胃腸薬	
衛生品	ティッシュ		歯磨きセット	
	ウェットティッシュ		生理用品	
	タオル		オムツ(乳幼児がいる場合など)	
	ビニール袋		携帯用トイレ	

	品名	チェック	品名	チェック
現金・貴重品	現金(紙幣)		免許証(コピー)	
	現金(硬貨)		健康保険証(コピー)	
	印鑑		家のスペアキー	
生活用品	懐中電灯		軍手	
	携帯ラジオ		マスク	
	予備電池		雨具	
	携帯電話用簡易充電器		ゴミ袋	
	ライター・マッチ		レジャーシート	
その他	ろうそく		筆記用具	
	ナイフ			
その他	ヘルメット		ホイッスル	
	防災ずきん		ロープ	

非常用備蓄品

避難生活で必要になるもの。支援体制が整うまでの最低 3 日間を自足できる分を目安に考えてみましょう。

	品名	チェック	品名	チェック
飲料水	飲料水(1人1日3ℓが目安)			
	給水用容器(ポリタンクなど)			
食料	アルファ米		チョコレート	
	乾パン		飴	
	インスタントラーメン		調味料	
	レトルト食品		割箸	
	缶詰(缶切り含む)		スプーン・フォーク	
	インスタントスープ・みそ汁		紙コップ・皿	
	ビスケット			

	品名	チェック	品名	チェック
生活用品	カセットコンロ		ガムテープ	
	予備カセットボンベ		軍手	
	固形燃料		石けん	
	ろうそく・ランタンなど		ドライシャンプー	
	ライター・マッチ		簡易トイレ	
	ラップ			
	アルミホイル			
その他	ブルーシート			
	消火器・三角消火バケツ		発電機	
	スコップ		地図・防災マップ	
	のこぎり		家族の写真(安否確認用)	
その他	ハンマー			
	ボール			



非常用持ち出し袋

女性消防団員募集

女性消防団員は全国的に、年々入団人数が増えています。

女性の持つソフトな面を生かして、一人暮らしの高齢者宅への防火訪問、町内会の皆さんに対する防災教育、及び応急手当の普及導等において、特に女性消防団員の活躍が期待されており、鶴岡市女性消防隊でも、町内会等の自主防災活動に参加させて頂いています。

地元に住んでいるからこそ出来る消防団活動!! 鶴岡市に在住、勤務されている方で、少しでも消防団活動に興味のある方はお気軽にご連絡下さい。

ぜひ、私達と一緒に活動しましょう!!

【連絡先】

鶴岡市消防本部 警防課
Tel 22-8320



第3分団第3部隊第3班 (下川尻)

～班紹介～

第3分団第2部隊第1班 (東堀越1班)

地域防災の重要性

班長 叶野寿幸
私たち東堀越一班は、小型ポンプを所有しており、班長を含め団員数8名、年齢20代後半～30代で構成される若手揃いで個性豊かな面々です。また、来年度には新入団員1名が入団予定となっております、更なる消防団活動の活性化が期待されます。

次の二十年に向けて

班長 佐藤吉人
昨年末、勤続20年のベテランが我が班を去りました。高い信頼性で消防団活動の要を担い、長きに渡って班員と苦楽を共にしてきた下川尻班が誇るポンプ自動車とその役目を終えたのです。役目はその日の内に引き継がれました。
東日本大震災によ

9月4日、地元町内会で大規模な地震を想定した総合防災訓練が行われました。内容は地元住民参加による避難誘導訓練、ケガ人の救助、心肺蘇生訓練、ジェックトシューターを使用した初期消火訓練、消防団による大規模火災防御訓練が行われました。

この訓練は、自主防災会と消防団が協力して行われ、有事に備えた日頃からの準備の重要性を再認識する良い機会となりました。
今後も地元の防災力強化

る影響で配備の遅れていた新車。去りし仲間の代わりに入ってきた新人は、堂々たる外見とはうらはらの気難しさで、我々はいささか困惑しつつ、受け入れる事となりました。
あれから数か月。不慣れさは相変わらず消えませんが、この新しい仲間との間に築く信頼こそが、地域を守る力となっていくのです。
20年、地域を守り続けた先輩がいました。次の20年を守り通す為、頼もしくも

を図るべく、自主防災会と消防団が連携し、定期的な防災活動に努めていきたいと思えます。



気難しい後輩と共に我々も精進していきます。



1/13	9月	8/5	6/16	5/26	4/14	鶴岡市消防団事業予定	1/20	9/2	7/8	5/20	4/22	4/8	平成24年度 鶴岡市消防団事業予定
鶴岡市消防出初式	庄内支部後援 総合防災訓練	操法庄内支部大会	鶴岡市水防訓練	鶴岡市消防団 春季消防演習	鶴岡市消防団 入団式		藤島地域 消防出初式	藤島地域総合防災 訓練(各分団開催)	藤島方面隊 操法大会	藤島方面隊 春季消防訓練	初任消防団員 研修会	辞令交付式	

私たちが作りました!

■ 広報委員長
叶野 哲

■ 広報委員
加藤 英明、本間 篤
齋藤 茂樹、菅原 治
渡部 秀明、池田 修一
高橋 守、横山 勝儀
大沼 泰和、栗本 隆司
佐藤 正宜、井上 敦
五十嵐勝彦、齋藤 聡
庄司 裕美、阿部 美代
加藤 秀晴(藤島分署)

【委員長からの一言】
2011年3月11日、午後2時46分。忘れられないことが起こりました。1年前の今日、みなさんは何をしていましたか？
もう一度あの時を思い出し、家族で防災について話し合ってもらえれば、そうした行動へのきっかけにこの広報誌をつかっていただければ編集に携わったものとしてありがたいと思います。
平成7年に刊行したひのみやぐらも30号を迎えました、今後も防災意識に役立てていただけるよう次号に期待したいと思います。

(叶野)